

政治活動の課題 どう考えるか

答 前町長と同じ立場で考えたい



問 私は、前赤嶺町政の実績を高く評価をしている。また私も様々な提案を通して、その一助を果たしてきたと自負する。与野党にこだわらず、議会からの提案、指摘は、丁寧に対応してほしいがどうか。

町長 それぞれの立場や意見を尊重し、町民の福祉向上を最優先して対応する。

問 前赤嶺町長は選挙において、国政与党の政党候補者を応援され、その理由として、南風原町の町益のため、支援を受けるためとされていた。政治活動における課題について、国政与党を応援しなければ、必要な支援は受けられな

い、南風原町にとって不利益が生ずる。との考えを前赤嶺町長は否定された。町長、この点どう考えるか。

町長 前町長と同じ立場で考えたい。

選挙公約、全て白紙委任ではない

問 町長選挙で当選をされた。当然選挙公約が支持をされたと考える。しかし今回の投票率は42・74%、相手候補も一定の票数を獲得。全てが白紙委任をされたわけではない。

今、8つの公約、柱を答弁された。ある意味、理念的、



照屋 仁士 議員



自ら答弁する金城町長

目標値的な印象である。町民からすれば、まず何に取り組むのか。金城町長の重点とされる施策を答えよ。

町長 全ての公約は重要。しかし各部署の実情に応じて、予算面も総合的に踏まえて判断したい。

問 向こう4年間向かう姿勢を伺っている。再度聞く、任期4年間の途中で必ず達成させたい施策はあるか。

町長 公約を8つ挙げていく。できれば全てを実現させたい。

問 国政や県政、様々な政党、団体との関わり方について、私は、首長はある程度政治的な自制が必要だと考える。一部の政党や団体のみに偏することなく、絶えず町民の声を優先し、町政に当たってほしいがどうか。

町長 公平な町政運営に努めたい。

4年間を振り返って

4年が本当に早い。議会改革大きく進んだ。次期もより「町民に身近な議会」を望む。